

フクラスズメ

(学名: *Arcte coerulea*)

(文 吉岡義雄)

【チョウ目ヤガ科】



▲ 翅を閉じた姿が羽を逆立てて暖を取るすずめ雀(ふくら雀)に似ていることからこの名がついたと考えられています



▲ 前半身を反り返らせてゆすり、威嚇する幼虫。毒々しい体色と相まって恐ろしく感じられるが、人間に害はありません

雪と北風から守られる人家の中は人だけではなく、昆虫たちにとっても快適な環境です。森の倒木や落ち葉の隙間などで越冬する昆虫は、しばしば人家に侵入して越冬します。今回紹介するフクラスズメもそんな昆虫です。

フクラスズメは、平地から低山の森林に生息するヤガ科の蛾です。成虫は樹液や熟して発酵した果実を食べます。カメムシ類のように悪臭を放ったり、刺したりなどの危害を人に加えることはありませんが、翅を広げると8cmを超える大型昆虫のために、昆虫が苦手な人が嫌がるには十分な大きさです。

幼虫は黒と黄緑の体色に、赤色の斑紋を持つ派手な毛虫です。ただでさえ見るものを威圧する姿ですが、捕食者の気配を察知するとしやちほこのよう^{しやちほこ}に前半身を反り返らせ、体をゆすって威嚇します。毒々しい体色と相まって恐ろしさを感じますが、毛に毒はなく、人が触れても特に害はありません。食草はイラクサ科の野生植物で、農作物を食べるわけではないため、農業被害も与えず、成虫も幼虫も見かけの恐ろしさだけで人に嫌われてしまっている昆虫なのです。

只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川ミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

企画展「只見の猛禽類」

会 期：2021年12月4日(土)～2022年4月4日(月)

場 所：ただみ・ブナと川ミュージアム 2階ギャラリー